

平成27年度に向けて

日頃は大阪府立母子保健総合医療センター（以下、母子医療センター）との医療連携にご指導、ご協力をいただき、ありがとうございます。今回の地域連携ニュースでは、地域医療機関の皆様に関連が深いと思われる、平成27年度における母子医療センターの改革予定をご紹介します。

1. 体感診察待ち時間短縮に向けて

患者さんやご家族からの、診療までの待ち時間が長いとの苦情がよく寄せられています。これまでも待ち時間を短縮するための努力はして参りましたが、5月の連休明けに予定している電子カルテの更新に伴い、外来診察室前に診察の順番や待ち時間を表示するシステムを取り入れました。実質的な待ち時間の短縮にはつながりませんが、患者さんが診察までの時間を把握できることから、体感待ち時間が改善されるのではないかと期待しています。

患者支援センター長
里村 憲一

2. PICU（小児集中治療室）の増床

昨年度にPICUは8床から10床に増床しましたが、7月には12床に増床する予定です。これまでも院外の重篤小児搬送依頼にはできる限り対応していましたが、院内の重症患者への対応で空きベッドがなく、ご依頼に答えられなかったこともありました。12床に増床後は、これまでよりも多くの院外重篤小児患者を受け入れることが可能になると考えています。PICUでの治療が必要と考えられる患者さんがおられましたら、PICUに直接ご連絡ください（直通電話 0725-56-1070）。

3. 患者支援センター専任の副センター長配置

4月から患者支援センターに副看護部長クラスの看護師を専任で配置し、副センター長として患者支援センター全体の指揮をとることになりました。これまでのセンター長や室長は兼任のため患者支援センターに常駐することが難しかったのですが、専任の副センター長を配置することにより、常に現場で指揮をとれる体制となり、よりよい患者サービスを提供できるようになると期待しています。

母子医療センターは、患者サービスの向上や地域医療機関との連携を深める試みを行ってきましたが、まだまだ十分とは言えません。これまでにいただいたご意見を踏まえて、今後も患者サービスや医療連携に取り組んでゆく所存です。

基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します。

基本方針

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います。
- 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
- 母子に関する疾病の原因解明や、先進医療の開発研究を進めます。

診 療 科 の 紹 介

遺伝診療科

当センターではダウン症候群、ターナー症候群などの染色体異常症や遺伝性疾患、各種先天疾患をお持ちのお子様が多く受診しています。遺伝診療科ではこうしたお子様の総合的な診断、疾患の特徴を踏まえた健康管理、成長発達の評価などを行います。正確な診断のために、最新の遺伝学的検査を実施しています。他科と連携して合併症の早期の把握や対応を進めます。療育機関への紹介も行います。また、遺伝に関する疑問や不安を解決するために遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを実施しています。遺伝カウンセリングとは遺伝や染色体、遺伝子についての問題や不安をかかえている方（クライアント）に対して、先天性疾患・遺伝性疾患について医学的・科学的にわかりやすく正確に説明し、医学的処置や検査の理解を支援し、必要な遺伝サービスや社会資源の利用ができるように援助します。遺伝に関して正確な情報をお伝えします。また、生涯変化せず、血縁者にも影響を与える可能性のある遺伝情報（遺伝子情報）をどのように受け入れたらよいのかについての心理社会的支援を行います。

遺伝に関する講演会やセミナーを開催しています。ダウン症候群のあるお子様のご家族を対象にした「すくすく外来」を開催しています。同じ疾患のあるお子様の家族同士が知り合うことが疾患の理解に有用な場合があります。遺伝性疾患や患者会やサポートグループの活動も行っています。

遺伝学的検査には染色体検査や遺伝子検査が含まれます。近年のゲノム科学、分子遺伝学の進歩は著しく、多くの小児疾患の病因が分子レベルで解明されました。実際に診療の現場で遺伝子診断が利用される機会も増加しました。ゲノム科学や最新の遺伝医学を臨床の現場に還元・応用してゆくことは遺伝診療科の重要な役割です。遺伝診療科は最先端の遺伝診療を目指し、積極的に研究を行っています。原因不明の遺伝性疾患の原因の解明や、複数の新しい疾患単位の確立も行いました。将来の治療への応用も視野に入れた研究を進めています。

(遺伝診療科 主任部長 岡本 伸彦)



遺伝診療科スタッフ

病 棟 の 紹 介

母性東棟

母性東棟は、出産後の母子同室を行っています。出産直後は、母子関係を育む大切な時期です。育児がスムーズに出来るように母子同室・同床を行い、母と子の絆を築くサポートをしています。母乳育児支援を行い、母と子に合った授乳方法が出来るよう支援しています。

母親の中には、妊娠糖尿病、甲状腺疾患、精神疾患などを合併されている方も多くいます。児は出生時週数 35 週以上で体重 1800g 以上あり、呼吸障害がない場合は母子同室を行っています。児の合併症は、心疾患（チアノーゼを伴わない）、腎疾患、口唇口蓋裂、染色体異常、卵巣嚢腫手術後の安定した状態などで、新生児棟と連携しベッドコントロールを行っています。

年間分娩件数 1600 件の内、多胎出産は 120 件あり、多胎家族への支援にも力を入れています。また、社会的ハイリスク（特定妊婦）の方も多く、外来受診中から保健師・MSW と共に継続した支援を行い、退院後は家庭訪問につなげるなど地域と連携し、虐待防止に努めています。

退院後は、母乳外来、子育てサポート外来（2 週間健診）、育児電話相談を行い、1 か月健診まで支援しています。2014 年 5 月には、有料部屋の改修（個室・2 人部屋・4 人部屋）を行い、快適な入院環境を提供しています。

(母性東棟 看護師長 飯野 江利子)



母性東棟スタッフ

小児集中治療室（PICU）が増床されます

当科では、小児集中治療室（PICU）にて、科を問わず重症疾患に罹患した患者さんの集中治療を行っています。2014年の患者数は418名で、うち276名が人工呼吸器を装着、11名がECMOを使用し38名が他院からの搬送患者でした。現在、専属のスタッフ7人、非常勤職員3人、ローテーター1人の計11人で、24時間、365日、診療にあたっています。心臓外科・小児外科などの術後管理を中心に、院内で発生した重症患者さんの受入れも行っていきます。

昨年までは病床数が8床しかなく、PICUは院内発生重症患者で常にいっぱい、他院からの搬送受入れには十分対応できない状況でした。（もしかしたら、依頼をしてくださったのに、お断りした経緯があるかもしれません。申し訳ありません。）

しかし、昨年5月に新PICUが開設され、さらに今年度からは12床運用になる予定で、今後は他院からのご依頼にも十分対応できるようになると考えています。今後PICUでの集中治療が必要であると考えられる患者さんが発生した場合には、ぜひ下記までご連絡ください。満床でない限り対応します。ただし、外傷患者には現時点では対応できないことをご承知おきください。



当センター PICU 直通電話 (☎0725-56-1070)

(集中治療科 主任部長 竹内 宗之)

診療科 新任医師の挨拶

耳鼻咽喉科 副部長

大崎 康宏



難聴疾患は鼓膜チューブから人工内耳まで幅広く対応しています。積極的に病診連携致しますので宜しく願い申し上げます。

口腔外科（矯正担当） 副部長

上松 節子



患者さんの気持ちに寄り添いながら、歯並びと咀嚼・発音といった機能の改善を図る矯正治療を行っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

患者支援センター担当のご挨拶



4月から患者支援センターの担当が変わりました。副センター長の田家（写真左）、地域医療連携室副室長の川口（写真右）です。母子医療センターは患者さんにとって最適な医療と看護を提供するために、地域の医療機関と連携し、患者さんのスムーズな受け入れと退院に向けた支援を行って行きたいと考えております。私たち2人が地域のみなさまの窓口としてご相談に対応させていただきます。いつでもご連絡下さい。



地域医療連携研修会のお知らせ

日時

2015年 10月 24日(土)
午後 4時～6時

場所

梅田スカイビル
大阪市北区大淀中1-1

母子医療センターでは昨年に引き続きまして地域医療連携研修会と意見交換会を予定しております。詳細につきましては、今後の医療連携ニュース、ホームページ等でご案内いたします。

検査センターのオープン準備中

母子医療センターでは地域連携枠の「検査センター」のオープンを検討しております。MRI、CT、脳波検査、心臓超音波検査、心電図(案)について地域の医療機関のご要望に沿い、小児の検査を実施する予定です。詳細は追ってご連絡します。

眼科の初診予約待ち日数について

眼科の初診予約待ち日数が長くなっており、申し訳ありません。

現在、初診まで3か月ほどお待ちいただいております。但し、眼科ではFAX申し込みをお受けした後、必ず医師がFAX内容を確認し、緊急性の高い場合は迅速に対応しておりますので、なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

なお、4月より眼科医師1名の増員が実現いたしましたので、今後、待ち日数は短縮する予定です。

イブニングセミナーのお知らせ

2015年度も引き続きイブニングセミナーを開催いたします。今年度は年4回開催予定です。事前申し込みは不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

時間：午後5時30分～6時30分 場所：大阪府立母子保健総合医療センター内（下記参照）

日程	場所	テーマ(仮題)	担当部署	講演者
2015年6月4日(木)	研究所 大会議室	小児呼吸器外科疾患の診断と治療	小児外科	臼井 規朗
2015年9月3日(木)	研究所 大会議室	子どもの発達障害	子どものこころの 診療科	平山 哲
2015年11月5日(木)	研究所 大会議室	小児のレントゲン読影	放射線科	市田 和香子
2016年1月14日(木)	研究所 大会議室	けいれん発作	小児神経科	池田 妙

交通のご案内



診察時間：平日 午前9時～午後5時

予約受付時間：平日 午前9時～午後7時

初診予約 FAX：0725-56-5605 (24時間受付)

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター
患者支援センター 地域医療連携室

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

TEL：0725-56-9890 (直通)・0725-56-1220 (代表)

FAX：0725-56-7785・0725-56-5605 (初診受付専用)

<http://www.mch.pref.osaka.jp>

この広報誌に関するご意見・ご要望はFAXにて患者支援センターにお寄せください。